

三中校長だより 保護者地域の皆さんへ
令和4年度 第9号 R4.9.8(木)



藤井寺市立第三中学校
校長 奥 雅 美

「公立高校進路研修会」

9月3日(土)パープルホール大ホールにおいて藤井寺市連P主催の公立高校進路研修会がありました。本校からも1・2年生の保護者の方を含め90名以上の申し込みがあり、皆さん真剣に聞いておられました。ほとんどの高校が校長先生をはじめ担当の先生が話されていたのですが、一風変わっていたのが藤井寺高等学校です。担当の先生はパソコンの操作のみで、与えられたほとんどの時間を2名の生徒が掛け合い漫才のように学校の様子や行事など、特色を話してくれました。生徒の生の声であるということで、話の内容にも引き込まれていきました。とてもテンポ良く、場慣れしている感じだったので、「君たちは生徒会の役員さんですか」と聞くと、そうではありませんでした。彼らは高校のプレゼン大会で優勝した3年生なのだそうです。藤井寺市だけでなく、羽曳野市の説明会にも参加するとのことでした。「ふじたか」として藤井寺北小学校の放課後子ども広場のボランティア活動でも関係性が深い地元の高校、応援したい気持ちになりました。

「高校野球」

今年は高校球児にとって憧れの夏の甲子園が実施されました。この大会に出るために親元を離れて寮生活をしながら練習に励んでいる生徒も多い中、甲子園に出られるのはほんの一握りです。テレビに出ている人たちは、私たちが想像できないくらい頑張ったんだと思います。本校の卒業生も出場しており、教員たちは熱心に応援していました。教員というのは卒業後も卒業生の活躍を喜べる素敵なお仕事です。

体育大会スローガン

「若人の宴 一瞬を駆け抜けろ」

10月1日(土)は体育大会です。1学期末に全校集会で巨大あみだくじによるカラー抽選会が行われ、各クラスメンバー決めや作戦会議などが進んでいるようです。体育大会を通して学級の絆が深まっていくことと思います。夏休み中は生徒会を中心にスローガンの作成に精を出してきていました。横断幕は全校集会でお披露目し、玄関ホールに掲示されました。青空に入道雲、まさに青春を象徴する色使い。素晴らしい横断幕に感動しました。

「三中フェスタの始動」

新型コロナウイルス感染症の影響で令和元年以来実施できていなかった三中校区地域教育協議会行事「三中フェスタ(大玉入れ大会)」を、再開する方向で動き始めました。この玉入れは本格的な競技玉入れて、公式ルールに則って行われます。過去には500人以上の参加があり、幼児から高齢の方まで参加でき、三中の体育館で大いに盛り上がりました。そこで、今年度こそ感染防止対策を充分に取った上で実施する方法はないか何度も検討した結果、天候に左右されない広い場所があれば出来るだろうということで意見がまとまり、会場を藤井寺市立市民総合体育館に変更し、12月3日(土)の午前中に実施することになりました。市民体育館だと広いだけでなく、換気もされているし、観客席と競技エリアがしっかり区切られており、座席が段々になっているので競技もよく見えます。様々な面で安心して参加していただけるのではないのでしょうか。三中からだけでなく、校区の保育所・幼稚園・小学校等からも案内が届くと思いますが、年齢ごとに10人以内でチームを作り、参加してくださいますようお願いいたします。